

教員	講義タイトル	講義概要	可能な曜日・時間帯
紺野 祐	教育の現状と課題に向き合う教師	子供の育ちや学びに関わる「教育」という仕事には、他に代えがたい魅力がたくさんありますが、他方で特有の難しさも認められます。この講座では、将来教育に関わる仕事をめざす高校生のみなさんを対象に、まずは教育学の「幅広さ」を理解し、そのうえで「教師になるために必要なこと」とは何かを考えてみます。	
	「道徳」の授業づくりを体験しよう	小学校では平成30年度から、中学校でも平成31年度から、学級担任が授業を行う「道徳」が「教科」になります。本講座では、このように近年ますます重要視されてきている道徳の授業づくりの一端を体験することで、学校教育（とくに義務教育）の意味や役割について考えを深めてもらいたいと思います。	
稲垣 忠	探究する学びを組み立ててみよう	課題を設定し、情報を集め、整理・分析し、自分（たち）の考えを表現する探究学習が、生涯学習時代の学びの姿として注目されています。探究を支える力として「情報活用能力」に着目し、探究の流れを組み立て、改善点を見つける活動を体験してみましょう。	
	情報技術・情報社会の進展とこれからの学び	児童・生徒の学習の道具として、タブレットやコンピュータ、スマートフォン等の情報機器を活用する機会が広がっています。情報技術が今後さらに発展していくと、子どもたちはどのように学び、学校はどのような役割を果たすようになっていくのでしょうか。国内外の事例を紹介しながら、「これからの学び」を考えてみましょう。	
加藤 卓	射影量に関する思考と論述・記述の改善について	射影量とは、割合や速さ等の量のことです。到達度が低いと認識されている射影量に関する文章題の記述式問題に、より正確に解決する方法や的確に記述・論述するためには、どのようにすればよいのでしょうか?新しい解決方法として、高い正答率を実現する「乗除数量関係図」を用いる方法により、具体的な解決方法を考えます。	前期：火曜 後期：月曜
	3面角を使用した複雑な立体の制作活動について	立方体・直方体・柱体・錐体等の基本的立体は、角が直角であったり面が正三角形や二等辺三角形であったりする基本的平面から構成されています。これら学習済みの立体ではなく、全ての角が直角でない立体を制作はどのようにすればよいのでしょうか?未学習の複雑な立体の制作に3面角を使用して取組み、立体の認識能力を高めます。	
佐藤 正寿	新学習指導要領と社会科の授業づくり ～模擬授業を通して～	新学習指導要領でめざす社会科授業はどのようなものなのでしょう。新学習指導要領のポイントをおさえた上で、基礎・基本を重視した教科書中心の授業デザインについて、具体的な模擬授業を通して、その在り方を考えていきます。また、ユニバーサル・デザインの視点での授業づくりも視点として組み入れていきます。（主として小学校対象）	
	教師力をどのように高めるか	教師として身に付けるべき力は数多くあります。授業力や学級経営力だけではなく、仕事術や自己研鑽力も大切です。時には保護者からの要求に対応する力も必要です。これからの社会に求められる教師の力は何か。その力はどのようにして身に付けたらいいか、考えてみましょう。	

教員	講義タイトル	講義概要	可能な曜日・時間帯
長島 康雄	教師のための自然の見方・考え方	教員が押さえておくべき自然の見方・考え方を学ぶ出前講座です。屋内・屋外の学校施設設備（校庭含む）をどのように活用して子どもたちを指導するのかを実際に屋外に出ながら考えていきます。文部科学省編纂の「学校施設整備指針」の活用なども視野に入れて教育環境整備と教育的な効果を考えたいと思います。	
	学区（町内会など）地図を使ったフィールドワーク	小学校・中学校・あるいは町内会や地域の子ども会を対象にして、地域マップを作成する活動を支援します。防災（減災・縮災）マップや生き物マップなどオリジナリティあふれる地図を作ってみませんか？	
	台原森林公園（仙台市青葉区）で自然観察をしましょう	台原森林公園の自然観察を行う出前講座です。四季を通して変化する生き物の姿を楽しみたいと思います。子どもたちが夏期休業中に取り組む自由研究のヒントも紹介したいと思います。	
村野井 仁	国際補助言語としての英語の学び方	現在、英語は国際補助言語として多くの国や地域で使われています。英語学習においてどのような技能・知識・姿勢を身に付けていくべきなのか考えます。異文化間能力としての英語力とはどのようなものかについても考察します。	
	第二言語習得研究に基づく効果的な英語学習法	人が母語以外の言語を身に付けることを研究対象とした研究領域があります。第二言語習得研究(second language acquisition/SLA research)と呼ばれるものです。この研究領域において明らかになっていることに基づいてどのような英語学習や英語指導が効果的なのか実践的に考えてみます。	
ロング クリストファー	言語表現における英語と日本語の違い	依頼などの表現を具体例にしなから、日本語と英語の違いを紹介します。また、その違いの裏にある価値観の違い及び異文化間理解のための考察を行います。	月曜・木曜
	コミュニケーションスタイルにおける日本語と英語の違い	談話に見られる「あいづち」や「意見の述べ方」を具体例にしなから、英語と日本語におけるコミュニケーションスタイルの違いを紹介します。また、その違いの裏にある価値観の違い及び異文化間理解のための考察を行います。	
	メディアを介した日本語と英語の違い	映画の字幕や吹き替えを具体例にしなから、メディアに見られる英語と日本語の違いを紹介します。また、その違いの裏にある価値観の違い及び異文化間理解のための考察を行います。	
渡辺 通子	教科書という装置を考える	新学期に、初めて教科書を開いた時の晴れがましい、わくわくした感動は誰しも味わったことがあるでしょう。特に、国語の教科書は冒頭部分を暗誦したり、挿絵がいつまでも記憶に残ったりするものです。この講義では、日本の教科書制度の歴史と仕組みを学びながら、教科書採録の教材を読み直し、教科書の役割について考えていきます。	
	学力とは何か	アクティブ・ラーニングが小学校から大学まで導入されることで、授業のあり方が大きく変わろうとしています。今、求められる学力とは何なのでしょう？ この授業では、学校教育が保証する学力がどのように変容しているか、OECDのPISA調査を例に、リテラシー（読み書き能力）からコンピテンシーに変容していることを確かめていきます。そして、その授業作りの一端にも触れていきます。	
	俳句・ハイク・HAIKU	俳句は、日本の伝統的な言語文化のひとつです。でも今ひとつよくわからないという人が多くありませんか？ 実は俳句は海外の学校で言語教育の一環として使われてもいるのです。この講義では、日本語の俳句と英語HAIKUの違いや教科書に登場する俳句を読み味わったり、実作したりして、俳句のもつ楽しさを実感します。	

教員	講義タイトル	講義概要	可能な曜日・時間帯
大友 麻子	英語のしくみ	英語と日本語の間には共通点もありますが、1対1で置き換えられない相違点も多いので、英語は難しいと感じる人もいないのでしょうか。この講義では、音声、語彙、文法、語用などのなかから日本人が苦手意識を持ちやすい項目を取り上げて解説します。英語のしくみを知れば英語学習も楽しく、楽になるかもしれません。	
	世界のいろいろな英語	英語は世界の公用語といわれますが、実際は様々な英語が話されており、World Englishesと複数形でよばれます。この講義では、世界の英語の多様性とその背景をご紹介します。また、それを踏まえ、私たちはどのような英語を身につけたら良いかを考えます。	
清水 遥	早期外国語教育について	2020年から小学校では3年生から外国語活動が始まりました。この授業では、日本の外国語教育の概要を紹介し、特に小学校の外国語教育に焦点を当て、どのような取り組みが行われているのかを紹介します。使用されている教材や活動を取り上げ、比較的年齢の若い学習者の外国語習得について考えます。	
	母語習得と第二言語習得	皆さんは自分が初めて話した言葉を覚えていますか？私たちはどのようにして言語を身につけたのでしょうか。母語の習得と第二言語の習得は何が似ていて、何が違うのでしょうか。これまでの研究から明らかになったことを踏まえ、一緒に考えてみましょう。	
清多 英羽	「いのちの教育」とは何か？	現在、学校教育で行われている「いのちの教育」について、その背景や方法・内容について解説します。「いのちの教育」を実践する教師の実例を挙げながら、どのような意図でどこを目標として目指しているのかを踏まえながら、その手法や考え方を批判的に考察します。そして、その思想的な背景や現代的な課題にも踏み込みます。	金曜日 (ご要望に添えない場合もあります)
	18世紀の西洋教育思想を学ぼう	18世紀の教育思想家の代表的な諸説を、教育史の一つの物語として解説します。フランスの思想家ルソーから始め、スイスの教育実践家ペスタロッチの影響力を考察し、ドイツの哲学者フィヒテの国民教育思想を近代教育思想のひとつの頂点として検討します。近代教育思想が日本の現代教育の出発点になっているという視点から、教育思想を読み解きます。	
高橋 千枝	幼児および児童の発達について	講座では幼児期や児童期の発達を理解し、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校等の集団活動の場における子どもたちの育ちに寄り添った支援や指導について考えてみたいと思います。また支援におけるカンファレンスのあり方等についても考えてみたいと思います。	
	保幼小連携について	子ども達の育ちや学びの連続性を捉えながら、保幼小連携について考えてみたいと思います。とりわけ幼児期後期のアプローチカリキュラムや児童期初期の生活科を中心とした合科的・関連的なスタートカリキュラムの重要性についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。	
松本 進乃助	スウェーデンの社会と音楽	世界屈指の福祉国家であるスウェーデンは、教育においてもリカレント教育や保育と教育を一体的に行うエデュケアなど先進的な国です。スウェーデンは、「学校教育は、社会のミニチュア」と言われるように、社会への見通しを持った教育が重視されています。そのような中で、スウェーデンの音楽教育は何を目指しているのか、カリキュラムや成人の音楽活動の実態及びその活動を支える体制など社会学的な視点から俯瞰します。	
	楽器体験による音楽学習のススメ	私たちは、生涯で一体どれほどの楽器に触れるだろうか。専門的に音楽を学んできた人でなければ、学校の授業で扱われるリコーダーや鍵盤ハーモニカ、簡易な打楽器くらいでしょうか。楽器は、人間の叡智の結集であり、一つ一つが個性的です。また、その魅力がわかると音楽の接し方も大きく変わってきます。楽器を通して、新たな音楽の世界を知るための学びを提供します。	